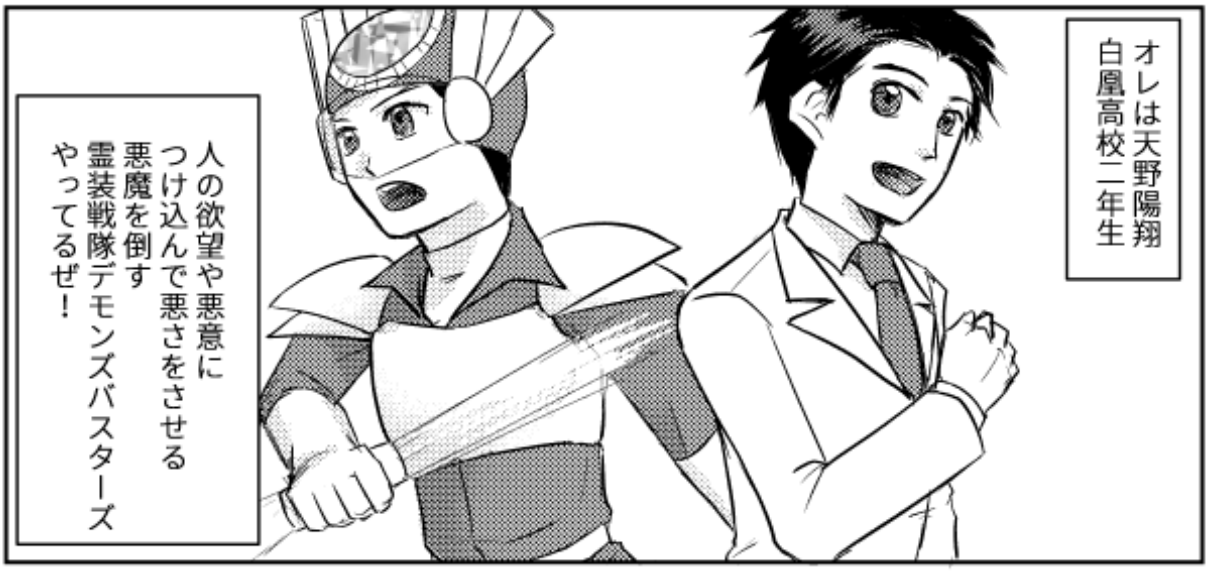
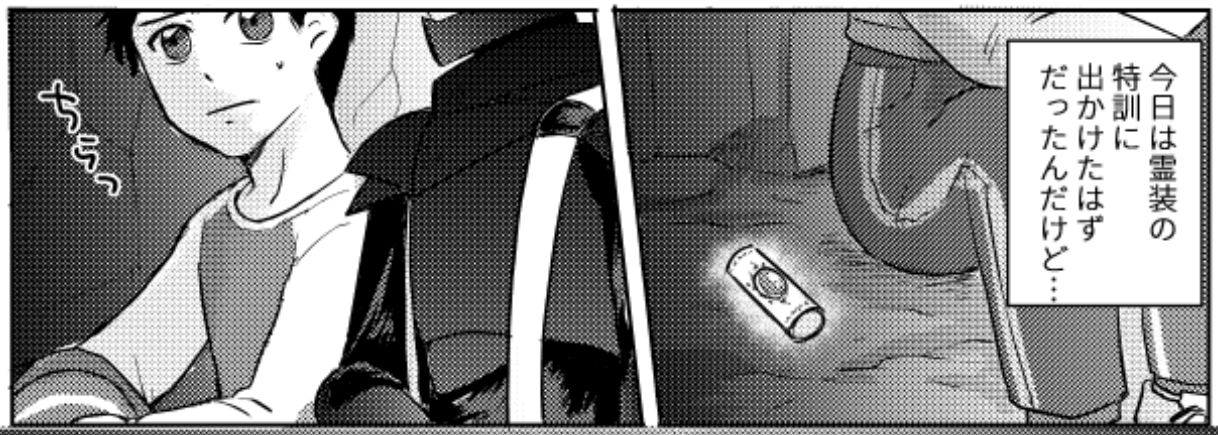

オレは天野陽翔
白凰高校二年生
人の欲望や悪意に
つけ込んで悪さをさせる
悪魔を倒す
霊装戦隊デモンズバスターズ
やってるぜ！


今日は霊装の
特訓に
出かけたはず
だったんだけど…
ちらっ

どうして
こんなことに…

遡ること8時間前――
15時頃

黒騎士（ブラックナイト）の中の人？

もし近くにいたら直で協力をお願いできないかなーっえ

いや…協力的な人なら最初からもう仲間になってないか？

確かに…仲間になってってお願いしても断られそうですしね

…あのさ

君達

何で生徒会室でその話をしてるわけ？

僕しかいないからいいけど

先輩が一人で寂しそうに明後日の球技大会の名簿チェックしてたからでーす

寂しくないから帰ってくれ

高峰先輩はどう思います？
人の話聞いてた？
…そういう職業があるか知らないけど
黒騎士（ブラックナイト）って前に言ってたピンチに助けてくれる人でしょ？
はい
その人はその道のプロなんじゃないかな
例えばその人がプロの登山家だったとする
死と隣り合わせの危険な職業だ
そんな中見よう見まねの素人がやってきた
その素人が命を落としそうになった時に助けることくらいはあるだろうね
それ以上の事を教えるかどうかはその人が親切で優しいかどうかだと思うよ
伊野原くんや槇原さんの言うとおり協力的な人ならもう君たちの仲間になってるんじゃない？

うーん やっぱり そうかー
妙にこだわるな？
実はさ 前にルイス先生と ジムで 会ったんだけど
どやっ
スゲー身体 鍛えられてて その上諭されて
だから案外 ルイス先生 だったり しないかなーって
安直だな！
中の人かあ… 確かにどんな人か 興味はありますけど…
知り合いだったら 逆にこれから どう接していいか 分からなく ないですか？
気まずいって 言うか…
怒られた 教々の思い出
ここで 責任能に ってます ぞ
……
う所が ぶだと る！
引け
…確かに…
考えるの 辞めましょ この話題

遡ること2時間前 午後9時

今日は瑠花さんがお祓いでいないし河野さんも別の仕事でいないから自主練です

はーい

と言うことで今日は霊装の力をうまく使いこなす練習ですっ！

空飛ぶ特訓してみましょう〜

イメージでいいだろ楽勝じゃん

飛ぶだけならいいですけど飛びながら何かするって大変なんですよー

…そうなの？

ふーん…

ふわっ

行けた行けた
じゃあそこで前転してみてくださーい
えっ前…
ぐらっ
うわっ
ドサ
ねー難しいんですよー
くそー…
…こんなんじゃ
あいつに追いつけない
…ハル先輩
よーしもっと練習するぞー！
俺もする
先輩方頑張って！
一時間後――
ヨロヨロ…
疲れたぁ～！

二人ともうまくなりましたねー！
体力って言うより頭が疲れるなこれ
甘い物食べたい…
そうなんですよ頭使うから糖分欲しくなるんですよねー
もう10分くらいやって今日は終わりましょうか
そうだなー！
ハル？
悪魔だ！
えっどこ？
ちょっとハル！
タッ
待て！
何だキサマ！
丁度いい訓練の成果を見せてやる！
あっあそこだ
随分上だな大丈夫か?!

うおおおお…っ！
ちっ
邪魔だ！
ガン
！
まずい霊装が解ける…！
ガッ
パァン
やば…
オレこのまま死ぬのか…？
ハル先輩！落ちてる…?!
ハルっ
間に合うか…?!

?!

えっ…

黒騎士(ブラックナイト)?!

よかっ…

バキッ

ああ！暗すぎて足元に木があるの分からなかったのか！

解説してる場合じゃないです先輩！

うわあああああ～～～～～！

ドサッ

くそ…っ

おい無事か

ぶ…無事です アリガトウ ゴザイマス…

無事なら 身体を起こして 俺の足から降りろ

ハイ…

ここは何なんだ 思った以上に 落下したが

この山 昔から洞窟があって 戦時中は軍が 秘密基地にしようと してたから こういう落とし穴 みたいなのが多くて…

…なるほどな だからか

すっ

こんなにも

行き場を失った死霊が蔓延っているのは

ズズズズズズズズズズ…

えぇ…？

自ステータス

まずはこの場から抜け出すか

ズキッ

くっ…

あんたもしかして足を…

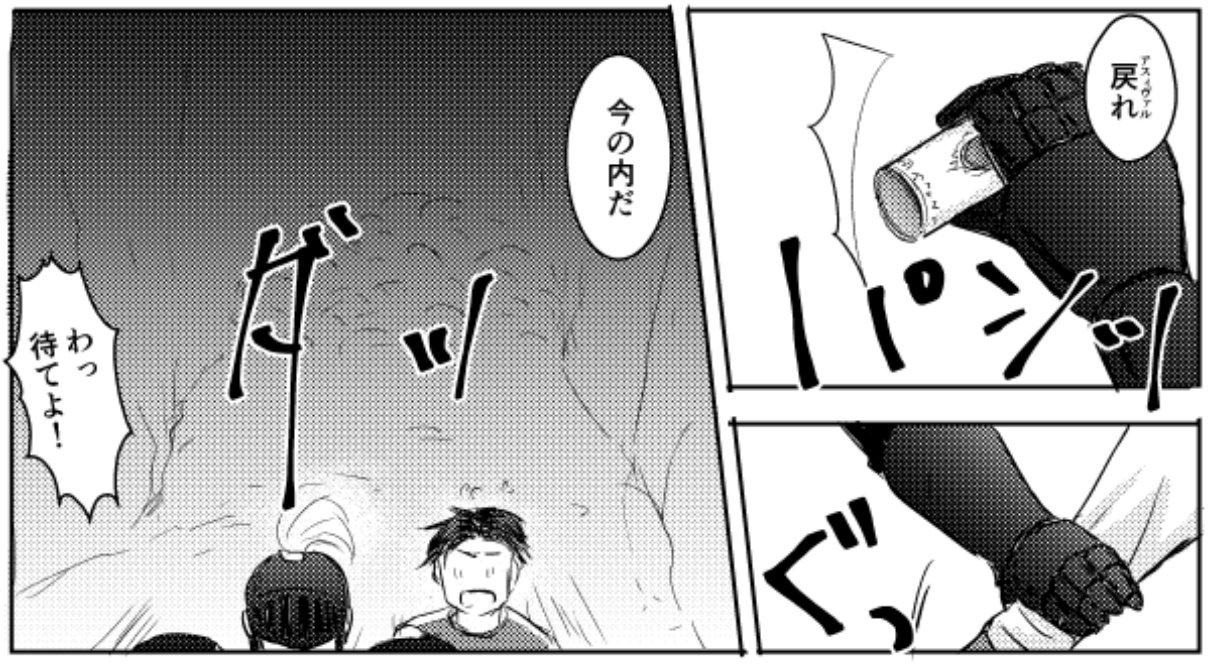
黙ってろ

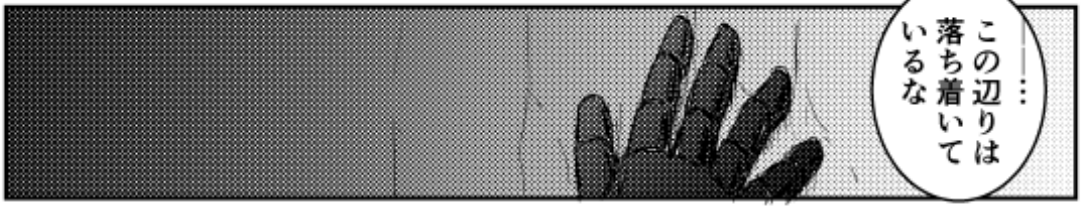
時間がない荒療治だが許せよ

必中（イヴァル）！

ギャアアアアー

ズバンッ


戻れ(アスイウェル)
パシッ
ぐっ
今の内だ
ガッ
わっ 待てよ!


……この辺りは落ち着いているな

これ以上不用意に動いても足に来るだけだ
ごめんなさいオレのせいで…
ズレ

謝るくらいなら悪魔退治ごっこは金輪際辞めろ
迷惑だと何度言えば分かる

オレだってごっこなつもりでやってない!
この状況ほっとけないだろ?!

ちっ
…いいから座ってろ
…はい…
ぽんっ
シャムいるか
はーい！
俺の霊力は目印代わりに切らさないようにしておく
りょーかい！行ってくるね！
ここから出て成島神社まで行ってくれ
？
あそこの神使ならここの構造も分かるだろう
…今誰と？
俺に付いてる妖精だ
助けを呼んで貰いに行かせた
それで成島神社に？
この山は成島神社の領域のはずだ
あそこの神使か能力者に取り次げば何とかなる
成島神社の人達とは面識があるのか？

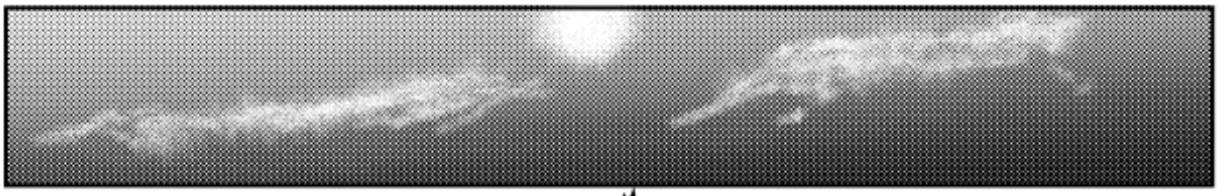
……
この周辺の霊的な守護者はあの神社だということしか知らんな
…知り合いじゃないのかな
あのさ…

……
…何だ
何て呼べばいいのかなって
あっオレは天野陽翔！白凰高校2年生！

呼び方なんて好きにしろ
それじゃ黒騎士（ブラックナイト）って呼ぶけどいいのか？
…それはやめろ

……
ルークだ
それと少なくともお前よりは年上だ少しはわきまえろ

…ルークさん…
分かりましたありがとうございます…
ルイス先生じゃないのか…



今日もなかなか手強かったわね…
流石に階段登るのもだるい…
霊装しようかな

瑠花さん！
あれ？二人とも霊装のまま…
ハルくんは？

実は…空中で悪魔にやられて山に落ちてしまって
えっ
黒騎士（ブラックナイト）が助けに入ってくれたけど二人で落ちちゃって

どうしようって思って来たんですけど…
多分地下の洞窟に落ちたわね
でもどの辺にいるか分からないと探し出すのは…

ルカーー！
はっ

シャムちゃん！
ちょっと…
ルーとあの子一緒に山の洞窟に落ちちゃってルーが足怪我したの！
出口分からないから助けて！
シャムちゃんあのね
じーーーっ…
はっ
ああ～～～やっちゃったごめん～～～
ルーに怒られる～～～！
それは後で考えよう？彼怪我してるんでしょ？早く行かないと
…成島さん
もしかして本当は黒騎士（ブラックナイト）と知り合いなんですか？
以前は「知らない」と…
…ごめんその話は後でするから
今は二人を探して助ける方が先よ
――ハクいる？
シュウウウウ…

いるよ
瑠花

！

ハクくんだ
久しぶりー！

くん付けは
やめろって
言ってるだろ！
ぼくは神使だ！

ハク…
お願いが
あるんだけど
いい？

分かってるよ
瑠花

山の奥から
旦那の霊力
微かに
感じるから

旦那怪我
してるなら
誰か人間一人
付いて
いかないと

そうね

どうやって行くんですか？
神社の境内の奥に入口があるの普段は封鎖してるわ
この山には地下にあった旧軍の基地の空気循環のために掘られた穴がいくつかあって
不用意に落ちると迷子になって最悪死んでしまうのよ
……
大丈夫よ私やハクは道分かるから
さ――――
めっちゃいかにもな場所ですね…
封ってあるけど大丈夫ですか…？
大丈夫よこちらから入る分には
封印
…着いたわ

と言うわけで私とハクとシャムちゃんで二人を回収してくるわね

2時間経っても戻らなかったらうちの両親叩き起こしていいから

…無事に戻ってきてください…

……

カナちゃんどう思う？

はい？

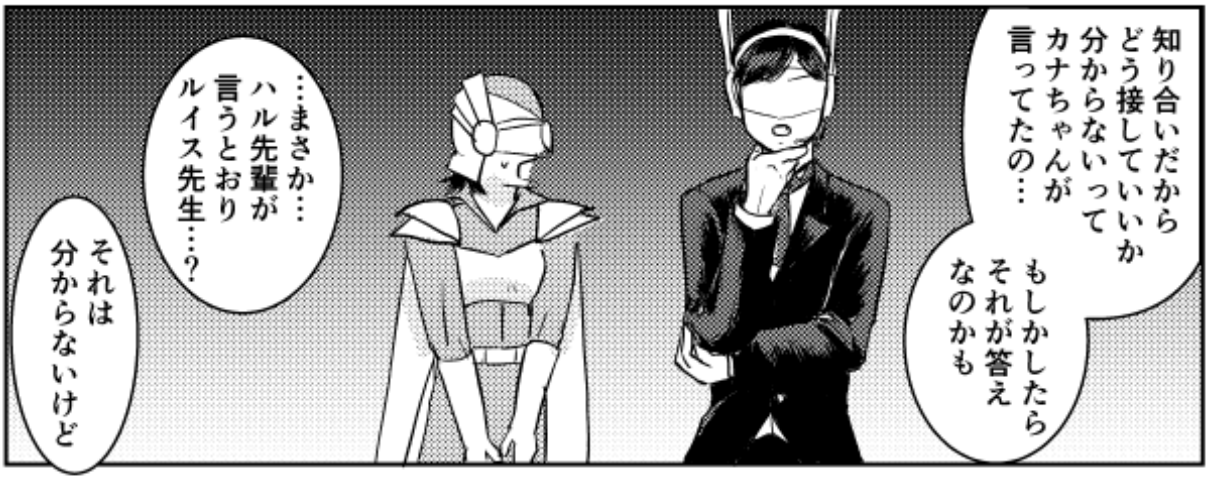
黒騎士の中の人

日中のハル先輩の話の続きですか？

ハルほどじゃないにしろ俺も気になってきた

何で成島さんは黒騎士と知り合いじゃ無いって嘘をついていたのか

確かに


知り合いだから どう接していいか 分からないって カナちゃんが 言ってたの…
もしかしたら それが答え なのかも
…まさか… ハル先輩が 言うとおり ルイス先生…？
それは 分からないけど

ピィィィン
つめたっ？

そんなこんなで 今に至る わけだけど…
無言が つらい…
あっあの… 折角なんで 何か話し ませんか？

何を話す 必要がある
ひぃぃぃ 怖！

な…何でいつも オレのこと 助けてくれるん ですか…？
オレの事が邪魔なら 無視して死なせても いいじゃないですか
俺の前で死なれては 夢見が悪くなる それだけだ

いい機会だから教えてやるが
俺の師は俺の目の前で悪魔に殺された
何もできなかった無力感と後悔をもう二度と味わいたくはない
だから助けてやってるだけだ
お前が無闇に首を突っ込まなければその手間は省けるんだがな
なっ…
た…確かにオレ達は素人だけど…
貴方にだってそういう時代があったんじゃないですか！
そういう話ではないと言っている

言ったはずだ俺の師は悪魔に殺されたと

能力者でもそうなるのに素人が無傷でいられるわけがないだろう

死にたくなければ手を引け

……

じゃあ…ルークさんはずっと独りで戦うつもりなんですか

それが俺の生まれ持った使命だからな

…だからって独りで背負う必要ないだろう！

あんたが倒れたらどうすんだよ！

もっと他人を頼ったっていいじゃないか！

あーいた二人とも！ハルくん声あげてくれてよかったぁ～

ザッ

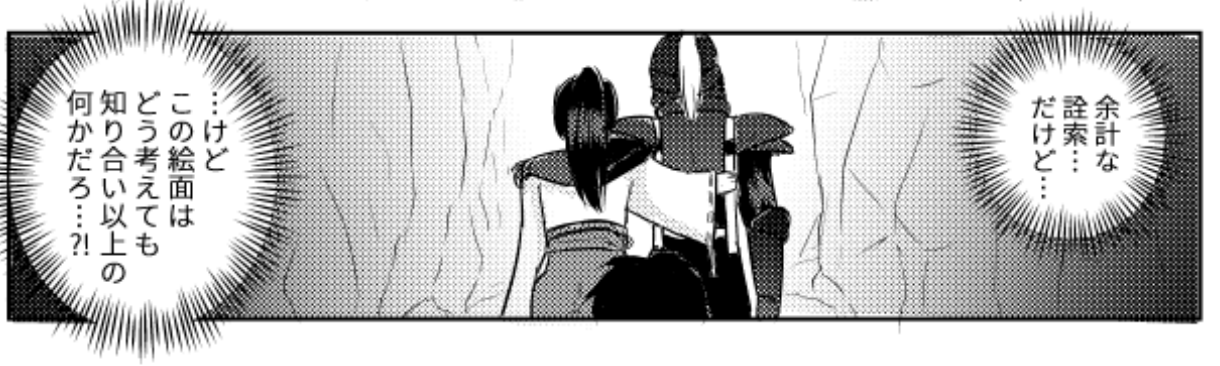
ハカッ

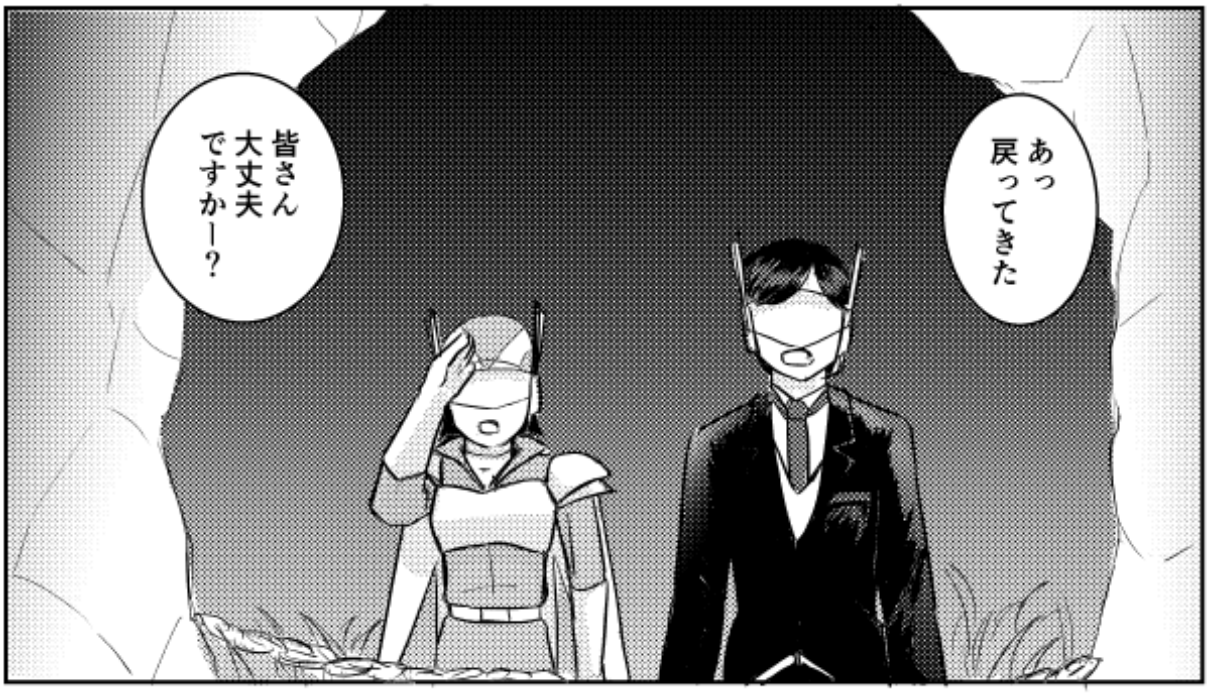
瑠花姉！
ルー！
結構深い所まで落ちたのね
見つけられてよかったわ
大丈夫？
動かさなければ問題ない
瑠花姉…ごめん
何謝ることあるのよ無事でよかった
……貴方はどう？
肩貸しましょうか
不要だ
いいから
おい…
ぽかーん…
必要無いと言っているだろう！

出口までは足元悪いのよ
……
慎重に行かないと足の怪我酷くなるわよ
……？
――ハク先導お願いね
…何だろうこの二人
呼吸が合ってるっていうか何というか
知り合いじゃないって前に瑠花姉が言ってたけど絶対知り合いだよな…この二人
もしかして瑠花姉高峰先輩とルークさんと二股してる??!
はっ
高峰先輩に知られたくなくて知らない人のフリしてたとか?!
いや瑠花姉はそんな人じゃないはず
ハルくん？
うわぁぁぁぁぁぁ

えっ？
ハルくんも大丈夫？
あっだっ大丈夫

出口で伊野原くんとカナちゃんも待ってるからもう少し頑張って
うん


余計な詮索…だけど…
…けどこの絵面はどう考えても知り合い以上の何かだろ…?!


あっ戻ってきた
皆さん大丈夫ですかー？

こめん二人とも心配かけて

無事で良かったです～お怪我はないですか？

オレは大丈夫だけど

ルークさんが…

ルークさん？

ちょっと！

ダッ

もう…

ぷすぷす

…瑠花姉

ルークさんは…
あ…彼 そう 名乗ったのね
ごめんね 私三人に 嘘ついてた
彼…ルークは 知り合いよ 知らないなんて 言ってごめんなさい
瑠花姉 それって やっぱり…
……
成島さんが わざわざ嘘を ついていた事には 理由があるん ですよね？
出来る範囲で 教えて貰え ないでしょうか
…誤解を恐れず 言えば 貴方達が未熟 だからよ
！
彼…本当は 独りで戦いたいの でも貴方達の事が 気になって つい手出しを してしまう…

今でさえ
そんな状態なのに
誰かと判ったら
もっと頼られて
辛くなる

それを恐れて
ルークは私と繋がりが
あることも含めて
伏せることにしたの
私もそれは了承したわ

足手まといだから
辞めろっていうのは
あいつの
本心なんだな…

そうね
でも

私は彼だけで
何とかできる
状況じゃないと
思っているの

だからこそ
霊装システムの
開発にも協力した

…仲間を
増やすために

私や彼みたく
生まれ持った力を
魑魅魍魎達との
戦いに使える人間は
ほとんどいない

私には
戦う仲間として
貴方達が
必要だと思ってる

――だから
彼が何と言おうと
私は貴方達の
可能性を信じてる

瑠花姉…

貴方達から見れば都合良く利用されていると思われても仕方ないわ

霊装して戦うことは危険だということも改めて判ったはず

――それでも…

それでもオレは辞めない

ルークさんを独りで戦わせたりなんてさせないよ

今日話してみて分かったんだ

全部を独りで背負い込もうとしてるって

生まれながらに力があるからってただそれだけの理由で

そんな不公平で理不尽な話絶対にだめだよ

そうですよ ルークさんにも 大切な人とか 家族とか いるはずじゃ ないですか

ルークさんに 何かあって その人達が 悲しむのは ダメです！

頭数を考えたら 素人だとしても 俺達が手助けした方が 効率的だと思います

ルークさんとは 連携体制を 構築すべきかと

……

皆…

…ありがとう 彼と話してみるわ

皆のおかげで 自信持てる だから一緒に 頑張りましょう

ほっ

はいっ！

…あの この流れで すごく言いにくい 事なんだけど…

オレ 謝らないと いけないことが あって

ヘッドセット壊れた上に無くしちゃった
ごめん！
えっっ！
べ…弁償とか…
こっちはある…
弁償とかの前に霊装できないじゃないですか！
あっ
そっかしばらく戦えないってことか…
お父さんに聞いてみますけど…
カアーッ
あっ空が白んで来ました！
カアーッ
あっ家に連絡…
カアーッ
俺ん家で勉強したまま寝落ちした事にしたから大丈夫
ありがとう柊――

ええ～～～！
ヘッドセット一つ無くしちゃったって～！
横原
ていうかそんな大事になってたんなら連絡くらいよこしなさい
今日活動ないからずっと家にいると思ってたよ
ごめんなさい…
…スペアとかある？あと弁償とか…
弁償はいいけど今まだ4つめを作ってる最中なんだ
一週間程度はかかるとみておいて
はあい…
ガサッ
…その代わりと言っちゃなんだけど
！
霊感メガネ！
戦うことはできないけど何が起きてるかは把握できる
気休めになるかどうかはわからないけど

…それに

?

一つ確かめて欲しいことがある

…ハル起きてるか

うん…目が冴えて眠れない

ルークさんの足の怪我大丈夫かなって考えてたら全然…

ハル…それどっちの足だった？

確か左…

あっ

左足をかばって歩いてる人がいたらもしかしたら…

そう

俺の推測だけどルークさんは身近な人だと思うんだ

カナちゃんが言ってた「知り合いだったらどう接していいか分からない」っていうのルークさんもそうなんじゃないかな

それに成島さんも言ってただろ「誰かと判ったらもっと頼られる」って

…なんか
それなら無理に知らなくてもいいんだと思う
——けどきっとそのうち知ることになるんだろうな
知るのが怖くなってきた
チュン…
チュン
チュン
チュン